

第3回放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成24年8月8日 18時30分

2. 開催場所 FMぎんが 2階会議室

3. 委員の出席

委員総数 8名

委員出席 5名

出席委員の氏名 加藤俊文委員 中間隆志委員 吉見満雄委員

藤崎剛委員 下吉秀知委員

放送事業者側出席者名 中崎宗治 中崎啓文 濱田英作

4. 議題 番組の聴取と意見交換

5. 議事の概要

番組「Museca♪Style」の番組進行表を事前配布、濱田英作より番組の現状と今後の展望などが説明された後、出席委員は、平成24年8月2日放送分及び同7日放送分の番組「Museca♪Style」の一部を聴取した。

これに対し、各委員より当該番組に対する意見を自由に出していただいた。

6. 審議内容

委員に実際の放送音声を聞いてもらい自由に意見を出していただいた。

吉見委員よりFMぎんがの放送において最も聴取が多いであろう時間帯は？との質問があり、これに対して濱田英作より午前11時～午後3時までの生放送の時間帯であると説明をした。

下吉委員よりは、以前よりもパーソナリティの皆さんの話し方は良くなっていると、一定の評価をいただいた。一方で音声のミキシングに関しては、トーク中の音量レベルと楽曲中の音量レベルに大きな差を感じ、音楽になると急に音声が大きくなる問題を感じるとの意見が出た。これに対しては、濱田英作よりオペレータにVUメータの確認を徹底するように連絡を行う旨が説明された。さらに補足として、中崎宗治より現在VUメータを新規で作成している事、また9月末を目安にスタジオシステム入換える計画があることが説明された。

加藤委員より、番組がもっている情報ソースはパーソナリティ毎にそれぞれなのか？との質問があった。これに対しては、濱田英作より番組「Museca♪Style」においては、

共通で使用している情報ソースのほかパーソナリティ毎に独自のソースもある旨が説明された。さらに加藤委員より、もっともっと地域に密着したコアな情報がほしいという意見がでた。以前にも議題にあがった「てんがらもんラジオ」のようなカラーがほしいという意見も付け加えられた。これに対して吉見委員からも、正にそういう番組作りがFMぎんがの経営基盤となる番組になるのではという意見がでた。この両委員の意見に対して中崎啓文より、今後FMぎんがにの放送に必要なものとして、現地に足を運んで持ってくる情報取得の体制、またそういった情報を持っている方との繋がり強化を考えていると説明を行った。

吉見委員より、高齢者をFMぎんがの主要なターゲットとし、そういった方が親しみやすくなるような個性の出る番組作りをしてはどうかという意見が出た。

藤崎委員より、同音異義語や聞きなれてない横文字などに対する即座の解説をしたほうがいいのでは？との提案があった。これに対しては同じく吉見委員より、ご年配のリスナーに外来語などのカタカナ言葉を使うと、それだけで拒絶してしまいがちという指摘があった。これに対しては、濱田英作より例えば『USTREAM (ユーストリーム)』という言葉が『インターネット配信』に置き換えるなど、よりシンプルで分かりやすい言葉選びをするよう、番組制作現場でもその意識付けを行っている最中である事が説明された。

7. その他の連絡事項

最後に、次回番組審議会を平成24年9月5日 18:30よりFMぎんがにて開催する事を確認し、今回の番組審議会を閉会した。

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

- ① 自社放送：平成24年9月3日（月曜日）15時00分からの「音楽番組の前半に特番」で放送
- ② 書面の備置き：平成24年9月1日（土曜日）から、当該事項を記載した書面（議事録）を事務所へ備置き
- ③ インターネット：平成24年9月1日より当社インターネットのホームページに転載

以上

議事録作成 濱田英作